



横浜市議員
竹内やすひろ

市政報告

ヒットエンドラン通信



平成29年 第3回市会定例会 公明党一般質問から 小児医療費助成の拡充について

小児医療費助成事業は、子育て支援策の中でも、重要な役割を担っている事業でもあり、子育て世代の方々が安心して暮らせるための、必要不可欠な事業です。

公明党が継続して主張をしてきました「小児医療費の助成」の対象が小学6年から中学3年までへと拡充されます。公明党は、「中学3年生まで」の対象拡大であり、「所得制限の撤廃」「全額助成」の実現を要望してきています。今定例会の一般質問においても取り上げました。

「中学3年生までの拡大」と「所得制限の大幅緩和」について質問

市長及び教育長からは、制度拡大に当たっては、システム改修が必要なことに加えて、市民への周知、医療機関への協力依頼、さらに該当の方々へ勧奨通知を送り、申請していただくことも必要となります。そのために、30年度予算で準備経費を計上し、実施のための準備期間を設け、31年4月から開始。

本年4月の拡大時には、保護者の方が市民税非課税の場合に自己負担額を無料としています。

今後の拡充にあたっては、同様の配慮をしつつ、受診しやすい環境を整えたいと考えています。

現在、横浜市では「旧児童手当の基準」を使用していますが、他の市町村では、それより90万円高い、「現行の児童手当の基準」を用いたり、年齢によって

所得制限のやり方を変えている例もあります。このような他都市の事例や、本市の財政状況を見極めながら、幅広い視点で検討を進めてまいりますとの答弁がありました。



就学援助制度の拡充について質問 ☆入学前の3月に支給

現行の就学援助制度は、小中学校に入学後の4月以降、申請を受け付け、審査・認定の上、入学準備費について7月下旬に支給しています。生活保護世帯の場合、入学準備金が入学前の3月に支給されていることから、就学援助対象者の入学準備費についても3月に支給できるように検討しています。

入学準備費の支給時期の変更のために、所得の確認の時期や方法、制度の周知、申請についての時期や方法、それに伴うシステムの改修、

関連する条例等の改正などについて検討しています。まず中学校入学準備費について、小学校6年生時の認定をそのまま適用できるように制度を改正し、今年度中の支給ができるようにしたいと考えています。

小学校入学準備費については、現行よりも少しでも早い時期に支給できるように取り組み、次年度については同様に入学前の3月に支給できるよう制度を改正していきたいと考えています。

横浜市議員

竹内やすひろ (たけうちやすひろ)

神奈川区政務調査事務所

横浜市神奈川区大口通り127-16コスガビル1F

TEL : 045-716-6822 FAX : 045-716-6823

ホームページ <http://takeuchi.180r.com>

E-mail mail@takeuchi.180r.com



市民・文化観光・消防委員会
大都市行財政制度特別委員会
公明党神奈川県本部 幹事長代理
公明党神奈川支部 支部長
防災士

公式ホームページ

<http://takeuchi.180r.com>



竹内やすひろ
facebook

「ハマ弁」の価格見直しの考え方について

中学校の昼食 ハマ弁の充実について質問

(市長答弁) 現時点では、「ハマ弁」の価格の見直しについてどのような考え方で進めていくかについてですが、他都市で実施しているデリバリー方式の給食並みの価格となるよう見直しを進めていきます。

今後のスケジュールについてですが、ご指摘のとおり、年度の切り替えの時期に効果的に周知することで喫食率の向上が見込めるため、平成30年4月から新しい価格で実施したいと考えています。この場合は、3月1日から新価格での注文受付を開始することとなります。

学校の先生方には食育の指導の中で「ハマ弁」を活用して生徒の食や健康に関する自己管理能力を高め、主体的に判断できる力を育成して欲しいと考えております。

また、「ハマ弁」は栄養バランスがとれてい



「家庭弁当、業者弁当そしてハマ弁をライフスタイルに合わせて、どれも等しく選べる環境を整える」

て、ごはんと汁物が温かい状態で提供されますので、昼食が不規則となる教職員にも食して欲しいと考えております。

教室で生徒と一緒に食べることによって、他に食べている人がいないからと、躊躇している生徒も、先生と一緒に食べやすいとも思います。学校には、「ハマ弁」の周知の取組に積極的に参加してくれることを期待しております。

ハマ弁による支援の進め方について

(教育長答弁) 今年の1月から「昼食の用意が困難な生徒への支援ガイドライン」を学校



生徒自身に「ハマ弁」を試食してもらう、無料試食会の「ハマ弁デー」も開催

に配付し運用を開始しました。学校からは支援した生徒の学校生活が安定し、学習への意欲も高まっていると報告を受けています。しかしながら、支援件数が少ない現状を考えますと、学校現場でガイドラインが十分に理解されていないのではないかと考えています。

急ぎ、使いやすいガイドラインを作成しますので、全教職員の手元において活用してもらいます。生徒の様子が少しでも気になれば、すぐに教育委員会へ相談いただき、速やかに支援につなげます。

市職員としての障がい者の雇用のあり方について

今後の市職員の障害者雇用のあり方について質問

平成30年4月の法定雇用率引き上げに向けて、新たに、精神障害のある方を嘱託として雇用します。

障害のある方が安心して働き続けるためには、一人一人の障害の特性や、能力に応じた業務に従事していただくとともに、きめ細か

な支援が大切です。

職場での理解を深め、障害のある方の活躍の場を、更に広げていきたいと考えていみると市長より答弁がありました。

